

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立竹園小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができている。 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を、口を用いた式に表すことができている。 角柱の底辺や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> いじめはどんな理由があってもよくないことだと理解している児童が多い。 5年生までの受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた児童が多い。 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると感じている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できていないこと。 国語、算数、英語を学習することの大切さは理解しているが、苦手意識をもっていること。 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることが十分でないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】 自分の考えを相手に伝えるために、言葉を選び、使うという機会を大切にしたい。そのために、日頃の学習の中で学び取ったこと、難しいと感じたことなどを丁寧に書き記すことを積み重ねていくようにする。また、これまでも、情報を集め、整理し、表現する活動を行ってきたが、それらをどのように活用することで、より効果的に自分の考えを明確に伝えることができるか、教師自身が具体的に例示したり、個やグループで考える時間を設けたりする中で互いに思考する活動を取り入れ、それぞれのよさに気付けるようにしていく。</p> <p>【算数】 グラフを活用する場面では、グラフの部分的な変化の特徴とともに、全体的な変化の特徴や傾向を読み取ったり考えたりすることができるように指導していく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の中で体験したこと、見聞きしたものについて簡単な言葉でまとめてしまう傾向が見られます。そこで、日頃の生活の中で、お子さんが伝えたいと思っていることについて、言葉を選び、話すということを大切にしたいです。 読書の習慣を付けるため、学校では、図書室を利用する機会を増やし、読書の楽しさに触れる機会をつくれます。ご家庭でも、ゲームやテレビなどのスクリーンタイムを少しでも読書に回せるよう働きかけていただきたいと思います。 調査結果を踏まえ、子どもたちの成長につながるよう、学校でもさらに指導をしていきますので、引き続きご家庭や地域の方々のご協力をお願いします。
--